

Glossary

グロッサリ

■ メッツ (METs; METabolic equivalents), エクササイズ (Ex; Exercise)

厚生労働省が「健康づくりのための運動指針2006」で定義した身体活動の強さと量を表す単位である。メッツ (METs) は、身体活動の強さが安静時の何倍に相当するかを表す単位である。エクササイズ (Ex) は、身体活動の量を表す単位で、 $Ex = \text{メッツ} \cdot \text{時}$ である。たとえば、6メッツの身体活動を30分行った場合、 $6 \text{メッツ} \times 1/2 \text{時間} = 3 \text{エクササイズ (メッツ} \cdot \text{時)}$ となる。

(中嶋 宏)

■ 情報薬 (info-medicine)

適正な情報を良いタイミングで提供することにより、情報はヒトを健康にする、あるいは健康リスクを回避することができる、という概念。札幌医大の辰巳治之教授が提唱した。例を挙げれば、心拍センサと加速度センサを用いて、ジョギング中に「心拍がそろそろ限界です。ジョギングをスローダウンしましょう」などとスマートフォン等を介して自動音声やメールで伝える、などである。

(中島直樹)

■ 地域医療連携ネットワーク

一人の患者を地域に存在する複数の医療機関等が連携して診断・加療を行うための情報ネットワーク。かならずしも電子情報を扱うとは限らないが、電子的な情報共有・交換を行うことが多い。電子情報を扱う場合、きわめて高い安全性を求められるため厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠する必要がある。運営には課題が多く事業継続性を支える人的ネットワークも重要視されている。

(石黒満久)

■ 電子カルテシステム

診療録等の電子的な保存・更新を実現するシステムである。厚生省通知「診療録等の電子媒体による保存について」(1999年)が普及の契機となった。医療機関内の情報共有、患者に対する説明の充実、記録の保管スペースの削減、地域医療連携などを実現する。実装・運用は厚生労働省が定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に従う必要がある。

(豊田修一)

■ データキューブ (Data Cube)

多次元データウェアハウスを視覚的に表すもの。多様な視点からデータを分析するために構築する。データ分析の切り口は、データのカテゴリを表し、階層構造を有するディメンジョン (次元) である。

(豊田修一)

■ DPC (Diagnosis Procedure Combination) : 診断群分類

医療費の定額支払いのために厚生労働省により策定された、1入院期間における資源投入量の同等性に着目した分類。診断名 (Diagnosis) と治療 (Procedure) の組合せ (Combination) により約3,000種に分類され、分類ごとに1日あたりの報酬が設定されている。

(川島直美, 堀口裕正, 伏見清秀)

■ レセプト (診療報酬明細書)

医療機関が健康保険組合等に診療報酬を請求するために作成する明細書。患者の傷病名、行った治療とその回数、金額が月ごとに記載されている。2011年度より請求事務が原則電子化された。

(川島直美, 堀口裕正, 伏見清秀)